

株式会社 J ストリーム 第 24 期定時株主総会（2021 年 6 月 24 日開催）

当日は多数の方にライブ配信をご覧いただきました。誠にありがとうございます。

こちらではライブ時に頂いたご質問メッセージにお答えいたします。

お答えしているほかにも、激励のメッセージも頂きました。重ねて御礼申し上げます。

今後とも株式会社 J ストリームをよろしく願いいたします。

【東証の市場再編にあたってのスタンスは？ 1 部上場できるのでは？】

東証の市場再編につきましては、現状 1 部／2 部／マザーズとなっているところが、2022 年 4 月にそれぞれプライム／スタンダード／グロース市場に再編されることとなっております。 当社は現在マザーズですので、グロース市場への再編となります。

当社は過去から、準備ができ次第 1 部への指定替えを狙いたいとお話ししておりますが、再編後はプライム市場への市場変更をにらんでおり、準備が整い次第皆さまにしっかりとご報告したいと考えております。

（複数の方から類似内容で頂きました）

【2020 年の資金調達の効果は？】

当社は 2020 年 10 月 16 日から、新株予約権発行を通じて約 34 億円の資金を調達いたしました。

この調達資金をもとに、ネットワークやプラットフォーム関連の開発に関わる会社、医療領域におけるデジタルマーケティング強化、一般企業での動画配信の利用シーンにおいて当社と補完するサービスを有する会社等に、資本業務提携や M&A を積極的に働きかけていく予定です。既に 2020 年度においてアズーリ社を買収しており 7 億円程度を活用いたしました。

当社は 2016 年以降、エンジニアや開発力を保有している企業や、当社事業と近接する領域で事業規模の拡大に有益である企業に向けて積極的に企業・事業買収を実施しており、順調に、連結業績にも寄与しております。

今後も、サービスの拡充や優秀な人材の獲得を狙い、企業価値の向上に繋げてまいります。

（複数の方から類似内容で頂きました）

【With コロナ／After コロナ での J ストリームの成長戦略は？】

With コロナの環境下において各企業において動画の利用ニーズが急拡大したのは、2020 年度の業績に十分にあらわれているかと思えます。

一方で、ワクチンの普及や流行の沈静化によって、逆に需要が減退するのではないかと、After コロナをご心配されるお声をいただくことがあります。

この点につきましては、感染症の動向によって実施を控えていた大規模なリアルイベントのライブ配信需要等が復活するなど、需要が変動する可能性はありますが、現時点では影響は大きくないものと判断

しております。当社グループにおいては、コロナ流行後の各社による DX への取り組みは、人の往来による時間的なものも含めたコスト削減もあり、2020 年度において相応の成果を挙げて、既に元に戻ることはない動きになっていると認識しております。首尾よく感染症が収束した後も需要は堅調に推移するものと判断しております。

より詳細な事業戦略につきましては 2020 年度決算説明会資料

<https://www.stream.co.jp/pdf/?g=2021-05-11&t=15-00&v=1&d=ir>

特に 23 ページ以降に記載がございますのでご覧ください。

(複数の方から類似内容で頂きました)

【株価が最近心配なのだがどう思うか？】

先ずは、企業価値の最大化に向け、業績をしっかりと安定的に向上させること、そして将来への投資を適時適切に行うことで企業価値を向上させ、ひいては株価向上につなげたいと考えております。

株式の分割、自己株の消却、そして配当施策等、常に最善の時期・施策をとるべく検討しております。

決定した際には、すみやかに皆様にお伝えしていきたい、と考えております。